

野菜・花き班

○長芋・ねばりっこの生理障害対策の実施



長芋・ねばりっこの栽培面の課題の中で、原因がわからずなかなか解決できない課題があります。そのひとつに黒陥没症があります。最近の調査の結果、過剰な施肥と降雨が発生の一因であるということがわかってきましたが、まだ解決には至っていません。それ以外にもねばりっこでは、芋の表面に傷が縦に深く入る縦割れ症状が発生しています。7、8月の早い時期に発生していることはわかりましたが、発生軽減の方法は見つかっていません。

そこで、農家の協力をいただきながら、現地に調査圃場を設置し、発生原因の究明と対策の検討を行います。

【写真：ねばりっこの縦割れ症状】

○ブロッコリーの収量品質向上支援



ブロッコリー生産においては、面積拡大に伴い省力化や気象災害に強い栽培方法による収量品質の向上を目指しています。

端境期にあたる6月中旬以降と、9月下旬での作期拡大に向け、新品種を導入し、花蕾品質の調査を行います。

【写真：ブロッコリー新品種試験】

○抑制中玉トマトにおける屋根散水の効果確認



抑制中玉トマトは、7月上旬定植で生育期間が高温で推移し生産が安定しません。

園芸試験場で研究している「屋根散水」によるハウス内降温効果と着果率向上効果を確認し、夏季高温対策への支援を行います。

【写真：抑制中玉トマトの屋根散水の様子】

○白ネギ生産安定への支援



琴浦町の白ネギ栽培は秋冬作型を中心に栽培されています。近年の夏季高温により夏越し中の欠株が多く発生し、収量品質が安定していません。

そこで、夏越しに優れた品種の検討を行い、生産安定に向けて支援していきます。

【写真：秋冬ねぎ品種試験の様子】

○花き栽培の開花調節技術導入支援



切り花栽培では開花は気象条件に大きく影響され、一斉に開花してしまうことで労力が集中したり、市場単価が暴落してしまうことが問題となっています。

そこで電照や遮光を行うこと等により開花時期を調節する技術の導入支援を行っています。

【写真：ストック電照栽培の様子】